

**宝塚大学 看護学部 看護学科 2023年度 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表
(2017～2021年度入学生科目) 旧課程 シラバスより**

担当教員	専任／非常勤	2023授業科目	科目ナンバー	必修／選択	単位数	時間数	実務経験の概要	実務経験の反映内容
中川 ひろみ	専任	成人看護学Ⅳ（援助方法論）	KSP31301	必修	2	60	大学病院で看護師、認定看護師、看護師長として内科と外科、集中治療室、救急部での臨床経験がある。成人期にある人々を対象とした看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ急性期、慢性期、終末期にある成人期の人々への看護について、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	KSP31401	必修	3	135		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	KSP31402	必修	3	135		
房間 美恵	専任	成人看護学Ⅳ（援助方法論）	KSP31301	必修	2	60	総合病院で看護師、看護師長として腎臓内科や免疫内科、内分泌内科、呼吸器内科、泌尿器科などの臨床経験があり、看護学生の実習指導に携わってきた。	実臨床での具体的な事例をもとに、慢性の”病い”をかかえて生きる人々がもつ課題を理解し、問題解決への取り組みができるよう看護理論を踏まえながら解説を行う。
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	KSP31401	必修	3	135		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	KSP31402	必修	3	135		
浅井 直子	専任	成人看護学Ⅳ（援助方法論）	KSP31301	必修	2	60	看護師として医療障害児入所施設にて、呼吸器内科の臨床経験がある。呼吸療法認定師として、スタッフ教育に携わってきた。	臨床での経験をもとに、呼吸ケアの知識や技術についての学習支援を促す。
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	KSP31401	必修	3	135		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	KSP31402	必修	3	135		
小林 いずみ	専任	成人看護学Ⅳ（援助方法論）	KSP31301	必修	2	60	看護師として民間病院の混合内科や腎臓内科の経験がある。	患者が慢性疾患に至った経緯を把握し、治療や看護、退院後に患者のライフスタイルがスムーズに変容できる援助を自ら学ぶサポートを行う。
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・回復期）	KSP31401	必修	3	135		
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・終末期）	KSP31402	必修	3	135		
松尾 ひとみ	専任	小児看護学Ⅳ（小児のアセスメントとケア論）	KSP31302	必修	1	30	看護師として、600床の民間病院で3年間外科・NICUを経験後、小児専門病院で循環器、NICU、ICU、感染症を10年経験した。実習指導者や新人指導を経験し、旧日本看護協会看護研修学校に進学した。教員となつてからは、臨床の小児看護師との事例検討や研究の相談を行ってきた。	小児看護の実践の根拠として有益な知識や理論を教授し、初学者でも実習で理論を活用できるよう、知識と実践の統合を促進する教育方法を組み立てている。
		小児看護学実習	KSP31404	必修	2	90		
西村 郁香	専任	小児看護学Ⅳ（小児のアセスメントとケア論）	KSP31302	必修	1	30	公立病院において看護師として、脳神経内科の臨床経験がある。また公立専門病院において看護師として、救急部門と重症心身障がい児病棟での臨床経験がある。AHAのBLS、ACLSを活用し、病院内の講習会・地域への普及活動をしていた。	臨床での経験を踏まえ障がいのある小児とその家族の看護につて教授する。
		小児看護学実習	KSP31404	必修	2	90		
鷺尾 弘枝	専任	母性看護学実習	KSP31405	必修	2	90	大学附属病院、病院、診療所において助産師としての臨床経験がある。また、産科だけでなく、婦人科での臨床経験がある。さらに、病棟管理者として、臨床指導者として、看護実践と教育、指導、研究に携わってきた。	健康障害を持つ女性及び周産期にある母子の生理的変化、身体的・精神的・社会的な特徴と看護ケアについて教授する。また、臨床での事例を踏まえて、問題解決のために必要な概念や理論を用いて、看護のポイントを教授する。
東尾 公子	専任	母性看護学実習	KSP31405	必修	2	90	助産師として、総合病院の産婦人科病棟、助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、ウェルネスの視点で周産期の対象と新生児の看護について教授する。
園田 希	専任	母性看護学Ⅳ（周産期ケアマネジメント）	KSP31202	必修	1	30	助産師として総合周産期母子医療センター(NICU)や総合病院の産婦人科病棟、有床診療所での産科病棟や助産師外来の臨床経験がある。	臨床での経験を踏まえ、周産期の母子とその家族が持つ力を最大限発揮するための看護について、具体的に教授する。
		母性看護学実習	KSP31405	必修	2	90		
西垣 里志	専任	精神看護学Ⅳ（地域における援助）	KSP31101	必修	1	30	精神科病院で、看護師、認定看護師としての実務経験がある。急性期、慢性期、外来、訪問、家族などを対象とした臨床経験があり、看護学生の実習指導にも携わってきた。	精神障害をもつ人々が、病をもって生きることの生きづらさやそれを支える家族の支援について、臨床経験を踏まえ具体的事例を通して、多面的に捉えられるように教授する。
		精神看護学実習	KSP31406	必修	2	90		
棕本 美帆	専任	精神看護学Ⅳ（地域における援助）	KSP31101	必修	1	30	総合病院で、看護師として精神科や身体科に勤務し、身体合併のある精神障害をもつ人に対する看護、脳卒中中の看護を経験した。また産業看護師や保健師として、地域で生活を送る人々に対する健康管理や健康相談の実務経験がある。	身体的・精神的・社会的側面など、精神障がいをもつ人を多面的に捉え支援する精神看護について教授する。
		精神看護学実習	KSP31406	必修	2	90		
桶河 華代	専任	在宅看護論Ⅲ（在宅ケアの演習）	KSP31303	必修	1	30	大学病院で、病院看護師として脳外科病棟等で臨床経験がある。また、公立保育所で、保育所看護師として、乳幼児に対する保育や健康管理に携わる。さらに、地域で生活する人々に訪問看護師として在宅看護に携わる。	地域で生活する人々に対しての看護と多職種で共同する看護の役割を教授する。すべての年齢、疾患を対象とした健康の保持・増進と健康段階に合わせた看護の提供を教授する。
		在宅看護論Ⅳ（地域ネットワーク論）	KSP31203	必修	1	30		
		在宅看護論実習	KSP31407	必修	2	90		
北島 洋子	専任	看護教育学	KSP42101	選択	1	15	大学病院で看護師として小児科病棟に勤務し、血液疾患や悪性疾患の看護に携わった。また、腎泌尿器専門病院に勤務し、人工透析や糖尿病の看護を経験した。	小児期から成人期、老年期にわたる各発達段階に応じた看護を提供するための、基礎的な知識と技術、看護専門職としての基盤となる考え方を修得するための学習を支援する。
実務経験のある教員等による授業科目の単位数(重複科目は除く)					22			